

## 新規実施項目のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

敬具

( 記 )

【項目名】：ガストリン

【受託開始日】：2023年5月1日(月)受付分より

【受託要領】

項目名称	ガストリン
項目コード	1635
検査容器	1・分離剤入凝固促進スピッツ
検体量・保存	血清 0.5mL・冷蔵
測定方法	RIA・PEG法
基準値 (単位)	11.9~46.9(pmol/L)
報告範囲	11.9未満~4000.0 上限を超えた場合は別紙報告
報告桁数	小数第1位
所要日数	3~5日
実施料	101点
判断料	144点【生化学的検査(Ⅱ)】

ガストリンは、胃幽門部、十二指腸粘膜に存在するG細胞によって分泌される消化管ホルモンであり、胃酸分泌促進、ペプシノゲン分泌促進、胃壁細胞増殖、インスリン分泌促進等の多くの生理作用を有しています。ガストリンは、ガストリノーマ、Zollinger-Ellison症候群で異常高値を示すことから、これらの疾患の診断に重要な検査とされています。

この度、体外診断用医薬品として薬事承認され、保険適用可能な試薬を用いた検査の受託を開始いたします。

【参考資料】

主な交差反応性

対象物質	交差反応性(%)
ガストリン-17	100
ガストリン-17, 硫酸化体	87.8
ビッグガストリン(ガストリン-34)	83.1
CCK-8	40.4
ガストリン 1-14	<0.01

※試薬添付文書掲載